NIE実践報告

1．タイトル：☆自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて発信しよう

2．学校名

長崎県長崎市立脇岬小学校

3．実践者名（代表者名）

松山　博美

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　14人

6．単元（本時の学習課題）名

目的に応じた伝え方を考えよう「ニュース番組作りの現場から（説明文）」「工夫して発信しよう」

7．目標（狙い）

自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて発信できる。
編集作業を通して書く必要のある事柄を整理することができる。

8．評価の視点

自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて発信ができたか。
編集作業を通して書く必要のある事柄を整理することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

目的に応じた伝え方を考えよう「ニュース番組作りの現場から(説明文)」「工夫して発信しよう」(教科書教材:光村図書)14時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

第1次　ニュース番組作りの現場から(説明文)
　○単元全体の見通しをもつ　①
第2次　○テレビニュースの「特集」がどのように作られているか内容を押さえながら，教材文を読む　②③
　○ニュースの「特集」を作るときに大事なことを読み取る　④⑤
第3次　工夫して発信しよう／編集して伝える
　○新聞の紙面構成や読み手を引きつける工夫を理解する　⑥
　○教材文を参考に，新聞づくりをして伝えたい事柄を決め、新聞づくりの計画を立てる　⑦⑧⑨
　(本時⑨)
　○編集作業をし、自分の新聞を作る　⑩⑪⑫
　○発表会を開き、感想や意見を交流しまとめる　⑬⑭

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事の収集では、自分の興味のある分野のみならず、社会事象にも目を向けて記事を選ぶなど、多岐にわたる情報に関心をもつきっかけになった。収集した記事の中から、必要な記事を選択したり、更に関連記事を探したりする活動では、子どもの意欲的な取組が見られた。自分の新聞を編集する活動でも、主体的に学習を進めていく姿が見られた。

12．成果と課題

成果：児童にとって、新聞は身近なものとは言い難いものであったが、本単元を通して、新聞記事の内容への関心が高まった。自分の伝えたいことが読み手によく伝わるような記事を選ぶ活動を通して、情報活用力が高められた。また、記事の内容から要旨をとらえる力を身につけることができた。
課題：小学生にとって、新聞記事の内容を自力で理解させるのは大変難しいことであるので、読み取りの効果的な手立てはないものか。言語活動の充実という視点で、教科学習の中にどのように新聞を取り入れていくことがよいのか。